

学校名 草加市立新田中学校
所在地 草加市長栄1-767
電話 048-942-9872

1 本校の概要

本校は創立37年目を迎え、生徒数562名、16学級の家庭地域に信頼される学校づくりを推進している。確かな学力と豊かな心を育み、生徒一人ひとりの良さや取り柄を伸ばす学校を目標としている。本校は草加市内で唯一のペアスクールであり、小中連携を重視した学校づくりが特色である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

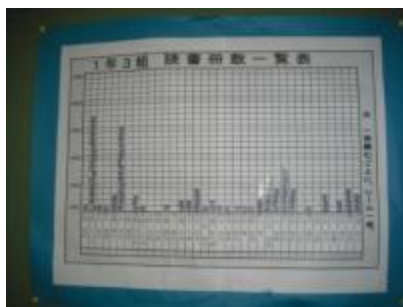
- ・ 読書に親しみ読書習慣を身に付ける取組
- ・ 学校司書を活用した図書館の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

読書習慣を身に付ける取組としては、全校で統一し朝読書の実施に励んでいる。

学校司書を活用した図書館の環境整備については、生徒が「本を手に取りたい」と思える環境を整え、環境を整備するとともに、生徒の読書習慣を身に付ける工夫を行っている。

ア 全校で統一された読書冊数一覧表



図書委員の生徒が中心となり、読み終わった本の冊数が一目でわかる冊数表を掲示している。

イ 生徒の意見を取り入れる工夫



生徒が読みたい本を自由にリクエストすることができる。内容によってはリクエストに応えることができない場合もあるが一つ一つ丁寧に回答している。

ウ 授業と連携した読書習慣の工夫



授業で学んだことを深く知るための手段として、本を読むことを指導している。授業に関するリクエスト本が増えてきたことも生徒の変容としてあげられる。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 休み時間や、ちょっとした合間に本を手にとって読む生徒が増え、生徒の読書習慣が身に付いてきたといえる。

イ 生徒のリクエスト本や配架の工夫によって、図書館の入館人数が前年度よりも増えたが、貸出冊数は478冊減っている。

ウ 生徒のリクエスト本が漫画やドラマの原作だけでなく、授業に関するリクエストが増えた。

(2) 課題

ア 読書習慣が少しずつ身に付いてはいるが、本の内容の精選までは指導できていない。今後、生徒が家庭で読む本の内容などを把握する必要があると考える。

イ 授業などでの図書館の活用方法を工夫する。

(3) おわりに

図書館の整備や掲示物などは司書教諭と学校司書が中心となって行っている。次年度は、他の教員とも連携し、図書館整備を行っていきたい。